

2022 年リジャイナ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

先生からの質問に対する答えから話題を広げてディスカッションすることが多かった。また私たちのクラスは小さなたくさんのテストの積み重ねで成績がよくなりました。

二種類授業があり、週 2 回と 4 回に分かれていました。

授業は対面と zoom でありました。ほとんどの学生が対面でしたが、稀に visa の問題で入国できない学生は zoom で受けていました。授業の進め方はゆっくりでした。理解できるまで説明してくださりわかりやすかったです。

デジタルテキストを使い、ペアワークやグループワークしたり、一人一人発言したりしながら進められていた。またチャプターが終わるごとに小テストをしたり、復習のためのクイズゲームをしたりしていた。

先生がそれぞれの生徒に合わせて授業を進めてくれた為、授業理解が深まった。個別に質問をする時間を設けてくれた為、授業の参加がしやすかった。

授業はスピーキングとリーディングで曜日が分けられています。内容は楽器が始まる前のテストでクラス分けをされているので、自分にあった適切なレベルで受講することができます。挙手制ではなく自由に発言をするクラスなので、発表をしなければついていくのは困難でしょう。

スピーキング重視の授業と、リーディング、リスニング重視の授業と曜日ごとに分けて授業をしていました。

電子書籍を使用した、教科書が基盤だがアクティビティやペアワークをたくさんした

授業は少人数制でした。教室も大きくなく先生や生徒との距離がとても近かったので受けやすかったです。先生は授業を進める中で理解できていますか？と何度も聞いてくださったので、不安だった授業も安心して受けることができました。教材などは紙の教科書ではなく全てパソコンの中に入っていました。正直、教科書に直接メモをたくさん取りたかったのが紙の教科書の方がよかったなと思いました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

最初の 1 ヶ月は 12 人で 9 人の日本人学生と 2 人のベトナム人、1 人のナイジェリア人（オンライン）ベトナム人 2 人は 10 月以降クラスからいなくなった。

クラスメイトは 12 人で、8 人が日本人、1 人が中国人、2 人がベトナム人、1 人がナイジェリア人でした。

日本人 5 人と留学生（メキシコ人、コートジボワール人、中国人）3 人の合計 8 人

日本人は私を含めて 3 人でした。韓国人が 6 割程度いました。その他に、中国人、ベトナム人、アフリカ圏の方がいました。

クラスは 18 人いましたが、日本人は自分を含め 3 人しかいませんでした。他国では、韓国をはじめベトナム、中国などのアジアの人々がメインでした。アフリカや、ナイジェリア出身の友人もいました。

初めの 1 ヶ月は中年のベトナム人 2 人と日本人 8 人と zoom 参加のナイジェリア人 1 人と授業していましたが、2 ヶ月目からは自分を含めた日本人 8 人と zoom 参加のナイジェリア人 1 人との授業でした。ナイジェリア人はネットワーク環境が悪くあま。一緒に授業している感じは無かったので実質日本人 8 人で受けている感覚でした。

8 人(日本 5 人、中国 1 人、メキシコ 1 人、コートジボワール 1 人)、下のクラスは日本人が多かった、上のクラスは韓国人が多かった

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

環境問題や食べ物が与える体への影響など身近な生活と関わりのあるトピックが多くて印象に残っている

ダイエットについて、出身国の伝統料理について

ブレインストームについてです。日本では全員で一つのトピックのブレインストームを考えることはなかったです。みんなで考えることで様々なアイデアが浮かび、とても大きいブレインストームが出来上がりました。

幸せの物差しとは。というトピックがありました。ほかの国の情勢などを知ることができました。

かなり最新のトレンドを関連付けた授業内容がたくさんありました。LGBT や、国際問題、またファッションなど幅広い分野を英語で学ぶことができ、またグループワークで独自の文化や考えについても話会いました。

健康についてのトピックがすごく印象に残っています。日本とカナダで健康の価値観が大きく違う訳では無いが、少し違って面白いなと思ったので印象に残っています。

食生活と病院のトピック、出身地の食について共有したことが良かった、実生活で役立つ話題だった、新しく知る言葉が多く面白かった、日本では意外と触れられていなかった話題だった

環境問題についての改善方法、自分の住んでいるところの紹介、日本の四季、ハロウィンのお菓子や飾りつけ作り、日本料理のレシピ作成、レストランで使う英会話、病院で使う英会話、道案内などです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

環境問題や食べ物が与える体への影響など身近な生活と関わりのあるトピックが多くて印象に残っている

ダイエットについて、出身国の伝統料理について

ブレインストームについてです。日本では全員で一つのトピックのブレインストームを考えることはなかったです。みんなで考えることで様々なアイデアが浮かび、とても大きいブレインストームが出来上がりました。

幸せの物差しとは。というトピックがありました。ほかの国の情勢などを知ることができました。

かなり最新のトレンドを関連付けた授業内容がたくさんありました。LGBT や、国際問題、またファッションなど幅広い分野を英語で学ぶことができ、またグループワークで独自の文化や考えについても話会いました。

健康についてのトピックがすごく印象に残っています。日本とカナダで健康の価値観が大きく違う訳では無いが、少し違って面白いなと思ったので印象に残っています。

食生活と病院のトピック、出身地の食について共有したことが良かった、実生活で役立つ話題だった、新しく知る言葉が多く面白かった、日本では意外と触れられていなかった話題だった

環境問題についての改善方法、自分の住んでいるところの紹介、日本の四季、ハロウィンのお菓子や飾りつけ作り、日本料理のレシピ作成、レストランで使う英会話、病院で使う英会話、道案内などです。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からないと思ったことは周りの日本人学生に聞くのではなく、先生に直接質問するようにしていた

必ず予習、復習をするようにしていました。プレゼンテーションの時は、ルームメイトに聞いてもらったりしていました。

毎日必ず対面で参加することと、課題をその日のうちにすることを心がけていました。また、授業では日本人が多く静かなため積極的に発言するようにしていました。そのおかげで先生も何かあれば自分に質問して下さるようになりました。

分からない単語やフレーズはその度にメモして調べ、復習していた。また、英単語の意味を簡単な英文で繋げたり、同じ意味を持つ英単語も同時に覚えたりするようにしていた。

予習復習をしました。

日々新しい単語や文法が増えていく中で、娯楽にもう少し時間を費やしたいという気持ちと常に葛藤していました。授業の復習や、予習では常に新しい単語や次の日に使えそうな文法、イディオムなどを放課後は友達と勉強していました。

自分の知っている範囲の語彙で文法がぐちゃぐちゃでもとりあえず、何かを伝える努力をしていました。

初めて見た単語は英英辞典で記録して暗記したこと、先生に積極的に質問したこと

大事ななと思ったことはすぐにメモを取ることを意識した。先生の話している内容をしっかり聞き取ろうと意識しながら話を聞いていました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどここの国の人でしたか。
1人	カナダ
3人	ジャマイカ、台湾、日本
3人	日本人、韓国人
4人	カナダ、台湾、ジャマイカ
5人	韓国人2人、日本人1人、メキシコ人1人、ナイジェリア人1人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩	0-15分	カフェテリア、寮のキッチンで自炊

部屋に用意してあったものは何ですか。
ベッド、マットレス、机、椅子、チェスト（4段）、レンジ、冷蔵庫
個人部屋: ベッド、マットレス、衣装棚、机、椅子、ライト 共用部分: テーブル 椅子 キッチン コンロ 水道 バス 洗面台 ベッド、机、鏡、椅子

自分で用意したものは何ですか。
布団類・食器・洗剤など
ハンガー、寝具一式
布団類、ハンガー、洗濯籠、食器類、
日用品すべて。紙類、雑貨（皿やコップ）
ハンガー、洗濯ピンチ、シャンプー、リンス、ポディーソープ、洗顔、メイク落とし、ドライヤー、コテ、ヘアオイル、寝具、洗濯洗剤、洗濯ネット、洋服、歯磨きセット、コンタクト、メガネ、メイク類、水筒、日本食、フェイスタオル、バスタオル、
布団、毛布、枕、ハンガー、食器、ゴミ袋
枕、シーツ、掛け布団、トイレトペーパー、床掃除モップ、ゴミ袋、ハンガー、コンセント、ドライヤー、食器、洗剤、箱ティッシュなど

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

湯船がない、冷蔵庫が大きい、ルームメイトとの生活リズムが違う

お風呂はシャワーが壁に固定されていて立った状態で洗わなければならない、お湯に浸かることができなかったので疲れを取ったり、ゆっくり入ったりすることは難しいと感じた。

常に掃除するように心がけました。

シャワーがガラス張りですべてしかお風呂に入れなかったこと

寮生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

必ず自分が使ったら掃除して、きれいにすることで共有なのでお互いに気持ちよく生活することが出来ると思います

日本のお菓子やものを持っていきプレゼントするととても喜ばれます。話すきっかけになるので良いと思います。

お互いがストレスなく生活するために迷惑をかけないことを心掛ける。ルームメイトの行動に対して不満に感じる事があれば必ず言葉で伝える。そして掃除などは手分けして行う。

最初にルールを決めるといいと思います。

なにもなくてもルームメイトとは頻りにコミュニケーションを取っておく方がいい。ルームメイトがうるさいとか、共用部分を綺麗にして欲しいとか、コミュニケーションを取っておかないと言いつらいし、言うタイミングを逃してしまったりするから how are u だの適当に何かしらのコミュニケーションは普段から取っておく方がいい

なるべく自分の普段の生活に使っているものを持っていく、慣れてるものを持って行く方が安心する

ルームメイトと共有部屋の使い方を話し合うこと、自分のしてほしくないことは恥ずかしがらず遠慮せず伝えること、個人部屋にこもらずルームメイトとの会話を大切にすること、毎日挨拶をすることです。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。
はい	ワイヤレスで可能
はい	LAN ケーブルで可能

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参
はい	日本から SIM カードを持参

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

寮に住んでいれば1週間に1回は寮内のイベントがあった

寮のアクティビティが多く、特にムービーナイトがおおかったです

大学が主催するプログラムがあればそれに参加していました。あとはダウンタウンを散策したり、ルームメイトとカフェで話したりしていました。毎晩ジムに通っていました。

カボチャのカービングやクリスマスのオーナメント作りなどの大学主催のイベント、アメリカンフットボールやアイスホッケーなどの試合の観覧

体育館に行ってスポーツをする。
自由時間はほとんど友達と勉強していました（遊んでいました）放課後はまず課題からかかり、その後少し仮眠をとり、そこから町に買い物に行ったり、散歩に行ったりしていました。大学のイベントもほぼ毎日のようにあったので休暇はありません。
近所のモールに行ったり、ショッピングに行ったりしていました。
寮のイベント、大学のジム
大学内や寮内で行われるイベントに積極的に参加しました。イベント情報は全てキャンパス内や寮内の掲示板に掲示されているのでそれを見て申し込んでいました。イベント以外にも大学の体育館を借りてバドミントンをしたりしていました。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
ダウンタウンのコーンウォールセンターは雑貨や服、お土産を買いによく行った
ダウンタウンにショッピングモールがありよく行ってました
バスでダウンタウンにいき、ショッピングモールがあるのでそこでルームメイトとショッピングしたりしました。休みの日には友達とカフェに行ったり、1人でカフェに勉強しに行ったりしました。
ショッピングモール、スーパー、スターバックス、Tim Hortons
図書館に行く。ジムに行く。
学校には Tim Hortons だけではなく、さまざまな飲食店もあったので吹雪の日などは校内で一日過ごす日もありました。学校から20分のところにダウンタウンもあったので、課題が少ない日などは友達とよくレストランなどに行っていました。
ダウンタウンのショッピングセンター、街中のカフェ、寮の共有スペース、スーパーマーケット
学校のカフェテリアや図書館で課題をしたり、ジムに行ったり、バスでスーパーやカフェ、モールで買い物をしたりしていました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
TOEIC を受験していきました。また、オンライン英会話にも通っていました。
洋楽をよく聞き、有名な曲は歌えるようにしました。日本について勉強しました。特にアニメや漫画が好きな方が多いのでそれについて勉強すると話す機会が増えると思います。
英語の勉強、寮の下調べ、学校周辺の施設調べ
単語を勉強する。
英語能力の向上に努めました。準備は一日前にしました。
必死に単語を覚えました
会話の本を読む
カナダの国について、現地の治安や環境や食べ物などを調べました。クレジットカードやパスポートなどの大事な物を無くした時の対応方法なども調べてノートにメモを取るなどしました。留学で使う英会話集の本を買って覚えたりしました。

留学前にしておけばよかったと思う準備

英会話の練習

リスニング能力を上げる。

もっともっと英会話を勉強しておけばよかったなと思った。各クレジットカードの使い方を完璧にしておけばよかったと思いました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本のお菓子、スキンケア類

日本のキャラクターグッズ、日本のお菓子

日本食、日本のアニメキャラクターのシールやグッズ、日本製のクリーム、日本のお菓子

日本食、カイロ、延長コード、洗濯ネット、生理用品、シャンプーなどの消耗品（詰め替え含む）、薬、エコバック、ブーツ、スキンケア類、充電器

日本のお菓子。日本の調味料。

日常英会話本。かなり実践的にすぐ使うことができる。また日本独自のもの、折り紙やお茶っ葉なども大変喜ばれる。

ロキソニン

ハンガー、洗濯バサミ、着圧タイツ

日本のお菓子やアニメグッズです。外国人にお菓子や日本のアニメグッズをプレゼントするととても喜んでくれたので持ってきて大正解だったなと思いました。日本のカイロやインスタントお味噌汁もとても役に立ちました。

日本から持っていく必要のなかったもの

マスク、洗濯洗剤

カイロ、マフラー

たくさんの服、勉強道具

カトラリー

多くの服。服は最小限でいいと思いました。

ティッシュ、石鹸

折り紙、ルーズリーフ（少量でよかった）、文法などの参考書、シャンプー、ブレンディースティック(少量でよかった)

日本から持参すればよかったと思ったもの

日本食

ドライヤー、日本のスキンケア商品

食器洗剤、保湿系、

キッチン用品。寝具。

お茶漬け。目薬（コンタクトには）洗顔、顔パック、アレルギーの薬、体力回復薬（QP）、黒の服、運動のボトムス多め。

もっと服を持っていけばよかった。英語の勉強道具→学校が電子書籍で書き込みとかも出来ず、買った教科書で勉強するのが難しかったので自分で勉強出来るような何かしらを持ってこればよかった。

ゴミ取りのコロコロ、食器、日本のお菓子

カトラリーセット、お箸、白ご飯、食器洗い用スポンジ

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。
1万程度の現金、クレジットカード2枚、トラベルマネーカード
クレジットカード2枚、デビットカード1枚
現金3万円、クレジットカード1枚、デビットカード2枚
クレジットカード、デビットカード、1ヶ月1万円分の外貨（3ヶ月分）
クレジットカード。現金。
クレジットと現金を少し（10万円）持って行っていました。日本からの入金可能なクレジットカード
クレジットカード（マスター、visa）2枚とデビットカード1枚と現金
クレジットカード、現金
クレジットカード（デビットカード含め）3枚、現金2万円をカナダドルに換えました

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
住居費約40万 食費約25-30万
寮費約40万円、食費（ミールプラン）約30万円
住居費約35万、食費月3万ほど
住居費が3ヶ月で30万円ほどでした。食費は計算していなかったのですが、一度外食をすると3000円は覚悟したほうがいいです。
寮費は約30万円、食費は週10食プランで約28万円
寮約40万、食費約25万
住居費は大体30万ぐらい、食費は28万ぐらい
寮費、ミールプラン費用など大学で必要な分を除いて50万
クレジットカード上限100万、現金3万円分両替していきました
現金3万円、クレジットカード上限30万円、デビットカード40万円
デビットカード上限100万円、現金3万円
クレジットカード上限30万×2枚、現金3万円分を換金した。
クレジットには300万ほど入れていたのですが、帰る頃には20万円残すことができました。
現金は約1万円分 クレジットカード上限10万と10万、デビットカードは70万円入っていました
現金2万、クレジットカード上限10万、デビットカード上限なし
クレジットカードの上限を50万を100万円に変更しました。現金2万円

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
テキスト代は日本円一万ちょっとだったと思います
テキスト代約2万円、通学費なし
テキスト代2万4千円
通学費は確か9000円ほどでした。バス乗り放題。テキスト代は2冊で2万円ほどでした。
テキスト代は約2万円、通学費は徒歩なので無しです。

テキスト約2万、通学費なし
テキスト代は大体10ドル以上、通学費は徒歩なのでなし

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
40万
約30万円
買い物や約13万円
洋服など15万、コスメなど2万
全く何に使ったか記憶がないのですが、友達と食べに行ったりしたり、少し隣町に買い物で3万円などよくありました。
約10万
約50万
スーパーで買う食品、モールで買う雑貨や服、旅行費

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
誰とでも気軽に会話する文化に中で過ごしたことによってコミュニケーション能力は向上したと考えます
ルームメイトが韓国人だったこともあり、英語だけでなく韓国語も話せるようになりました
スピーキングとリスニングが格段に上がり、コミュニケーション能力も上がりました。海外ではスーパーに行くのと知らない人にも声をかけられます。初めは戸惑っていましたが、途中からはすぐに対応できるようになり、最終的には自分も話しかけるようになっていました。
留学初日ではリスニング力やスピーキング力が不十分だったため会話をすることが難しかったけれど、帰国する頃にはルームメイトと会話をして留学を終えることができました。
スピーキングとリスニング能力が向上しました。
言語能力は友人や先生方に、とてもレベルが上がったと言われるくらいレベルが上がりました。自分でも、もっと詳しく伝えたいや、話したいと思っているうちに他人との会話の中での吸収や、本や教科書からの勉強でかなり知識がついたと思います。
コミュニケーション能力は高くなったと思います。英語が不完全でも伝えるという意識をしていたのでコミュニケーション能力は格段に上がったと思います。
聞く、読む能力は向上を実感した、スピーキングはまだまだだと思う
語学力は留学前よりも覚えたフレーズも増え、日本では日本語のみの生活だったけれど毎日たくさんの英語に触れそして英語を発することで自分の英語のスキルアップができたと思います。難しい会話まではできないけれど、簡単な日常会話レベルはできると思います。もっと英語力を伸ばすなら1年留学が必要だと思いました。

留学前の目標とその達成度
留学前の目標は、わからないことがあればインターネットなど使わずに誰かに聞くこと、学校で誰かに話しかけてみて友達を作ることでした。実際に、話しかけ仲良くなり帰国前もご飯に連れて行ってくれました。
留学先で友達を作り、覚えた単語やフレーズを使って日常会話を習得することを目標としていました。留学を終えて
より多くの国の人と話して、英語運用能力を上げることができました。

留学前から決めていた目標は、恥ずかしいですが、友人と恋の話をできるくらいのレベルになりたいというのが目標でした。明確な英検やTOEICで高得点をなすなどではなかったので、非常にリラックスして留学に取り組みました。

留学前は英語がスラスラ出る位には上達していたという目標でしたが、そこまでは達成できませんでした。しかし知らなかった単語、フレーズを沢山知って頭の中にインプットしてすぐ話してアウトプットすることができたので来る前よりは格段に英語の語彙力が上がったとおもいます。

目標は英語を流暢に話せるようになることだったけど、その目標を達成するのは難しかったです。自分から話しかけにくい積極性が足りなかったなと思います。

留学を通しての成長ポイント

知らない土地で分からないことがあれば誰かに聞いてどうにかするといった自己解決能力の向上

挑戦しようと思う気持ち、恥ずかしさが無くなったと思います。こうなったらどうしようとかマイナスに考えていたのが無くなり、失敗してもプラスに考えるようになりました。

何にでも対応できる能力。留学では思ってもいない問題がたくさん起きます。そのためそれに対応する能力が1番身についたと思います。

何か伝えるためには英語で話さなければならない状況に置かれるため、簡単な英語であっても英語で話そうとする力やリスニング力が特に伸びた。

言語は変化していく為、現地で突かられているスラングなどを知ることができました。

異国の地で、気が動転していた仲間にもどのようにして、声をかけるかや相談に乗ってあげられるのかなど、英語ではなく人間としてまたリーダーとしての成長できたと思いました。自分は人の上に立つような人間ではないのは自覚していますが、人を支えることや、その人を勇気づけることは自分の性格上得意なので、その長所を伸ばすことができました。

留学中に向上させた高いコミュニケーション能力を活かして異文化を理解する力がついたとおもいます。私の派遣された大学は沢山の国から留学生や移民がいて、沢山の文化的背景を持った人が集まる場所で、普段日本では固定概念に縛られて物事を考えてしまうタイプでしたが、ここで沢山の文化的背景を持つ人々と関わった事で様々な文化を理解し受け入れるという事が当たり前になるようになり、国際人への一歩を踏み出すことが出来たと思います。

海外の個性を大切に尊重するところを私も実行したい

精神的に強くなったと思います。自分自身を強くし成長させたことは一人行動ができるようになったからです。留学前は自分が一人行動なんてと思っていたので、不可能だと思っていたことを可能にすることができ、自分を成長させることができたんだなと実感することができました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

自分の英語力の不足に気づいたと共に、これからもっと頑張りたいと思うようになった

留学前は、ずっと行きたかった留学にやっといけるととてもたのしみで勉強していました。留学中もそのまま帰ってきて数日、帰ってきたことが悲しくモチベーションが下がってしまいましたが、留学中の写真を見返して今はさらにレベルアップしようと頑張っています

ルームメイトと会話するうちに自分の思っていることをきちんと伝えられないことにとっても悲しくなります、勉強の意識が湧いてきました。日々インプットとアウトプットすることができるのでモチベーションが下がることなく続けられました。

留学後は学んだ英語を使い英語で話すことの楽しさを知れたため、バイト先に来る外国人の方に自ら話しかけたりするようになり、もっと話せるようになるために勉強をしようという意欲が留学前に比べて高まった。

不安→なるべく英語を話して運用能力の向上を図る→TOEFLやTOEICに向けて勉強

留学前はまあ行くだけで英語が上達するだろうという気持ちだけで特に英語勉強へのモチベーションが高いわけでもなく受け身でいました。留学中は来て1ヶ月程で言語の壁にぶち当たり、思っている事が伝えられないもどかしさを感じてもっと自発的に英語を学んでいかな

いといけないという義務を感じて英語へのモチベーションは徐々に高まっていました。帰国後は留学中に挫折した文法を再習得するために、更に勉強したいと言う気持ちになり、留学前は受け身でいた英語の勉強も自ら進んでやる！というぐらには英語に対してのモチベーションが上がりました。

留学前より英語に対するモチベーションは上がった、他の国、海外への興味ももっと沸いた

留学前は語学力を上げたいという目標だったけれど、留学で出会ったある日本人留学生の自分の夢に向かって全力で努力している姿を見て強く刺影を受け、私も大きな自分の夢のためにもっともっと語学学習に励みたいと思うようになりました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

授業内のプレゼンとその準備

最後のテストとプレゼンテーションはとても頑張りました。

親元を離れて3ヶ月間暮らすことも初めてであり、日本と全く違った環境で生活を送るために環境になれることや、初めて挑戦することはかなりで不安だったが、何事も経験だと思い沢山のことに挑戦したこと。

友達を作ること

常に全力を出したので光るものが無い。-30度の日に友達と外に出て湖にみんなで飛び込んだ時

最終テストのプレゼンです。留学中に3回プレゼンをしたのですがその度に先生からアドバイスを貰っていて、最後のプレゼンは自分の言葉でスクリプトも最小限に抑えて最大限自分の言葉でその場で伝えるという事に挑戦しました。その時は自分の持つ能力を出し切れた瞬間だと思います。

ルームメイトと話している時

一人行動しようと思って行動できた瞬間です。この行動は自分にとって本当に大きな成長だからです。

留学先大学の良かった点

施設が綺麗、バスがたくさん走っているので移動が便利。

寮から外に出ずにそのまま大学に行けるという点がとても良かったです。寮が四つあるということから、休日でも大学内は活発で友達を作りやすかったです。

イベントが多く、さまざまな国の人達とコミュニケーションを取る機会が沢山あるところが良かった。

留学生への対応がすごく良かった。授業で問題が生じた時もすごく丁寧に対応してくれていつでもちょっとした相談や悩みでも聞いてくれたのでその点は良かったと思う。

大学の設備や多くの勉強できる環境、セキュリティ強化なところ、そしてイベントが沢山あるところです。初めは広すぎるので中々目的地にたどり着くことができないほど迷いました。